



Open Street

ecobike

Sharing Service

プレスリリース

2018年5月10日

台東区

OpenStreet株式会社

ecobike株式会社

株式会社シェアリングサービス

## 台東区とオープンストリートが共同でシェアサイクルの実証実験を開始

～ 区民や観光客の自転車利用の利便性向上と放置自転車対策の効果を検証  
14箇所にて66台を設置し、今後350台に拡大予定 ～

台東区とOpenStreet株式会社（以下、OpenStreet）は5月11日より、「台東区タウンサイクル事業」実証実験を共同で開始します。

本実証実験は区民や観光客の自転車利用の利便性向上と放置自転車対策の効果を検証するためのものです。実証実験を進めるにあたって民間から協力事業者を3社公募しており、OpenStreetが1社目として決定しました（※1）。OpenStreetの提供するシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING（ハローサイクリング）」を活用したシェアサイクルサービスを、パートナー企業であるecobike株式会社（APAMAN 株式会社 100%子会社）、株式会社シェアリングサービスとともに展開していきます。

「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクルサービスの利用者は、「ステーション」の検索から決済までの一連の手続きをスマートフォンやパソコンで簡単に行うことができ、「ステーション」であれば区内外のどこでも自転車を返却することができます。また、GPSと通信機能を用いた「ジオフェンス駐輪管理（※2）」「リアルタイム駐輪管理（※3）」により、放置自転車が発生しない仕組みを設けています。

「ステーション」は開始時点で台東区役所、台東区生涯学習センターなどの公共施設付近へ設置が完了し、今後、浅草駅や隅田公園付近などにステーションを増設し、合計70箇所、350台に拡大予定です。

### ■本実証実験の概要

#### 1. 期間

2018年5月11日～2019年3月31日（予定）

#### 2. エリア

上野、浅草エリアで開始し、台東区全域に拡大予定

#### 3. 「ステーション」設置箇所数

14箇所を開始し、70箇所以上を目標に順次拡大予定

#### 4. 導入自転車台数

66台を開始し、350台以上を目標に順次拡大予定

#### 5. サービスの利用料金

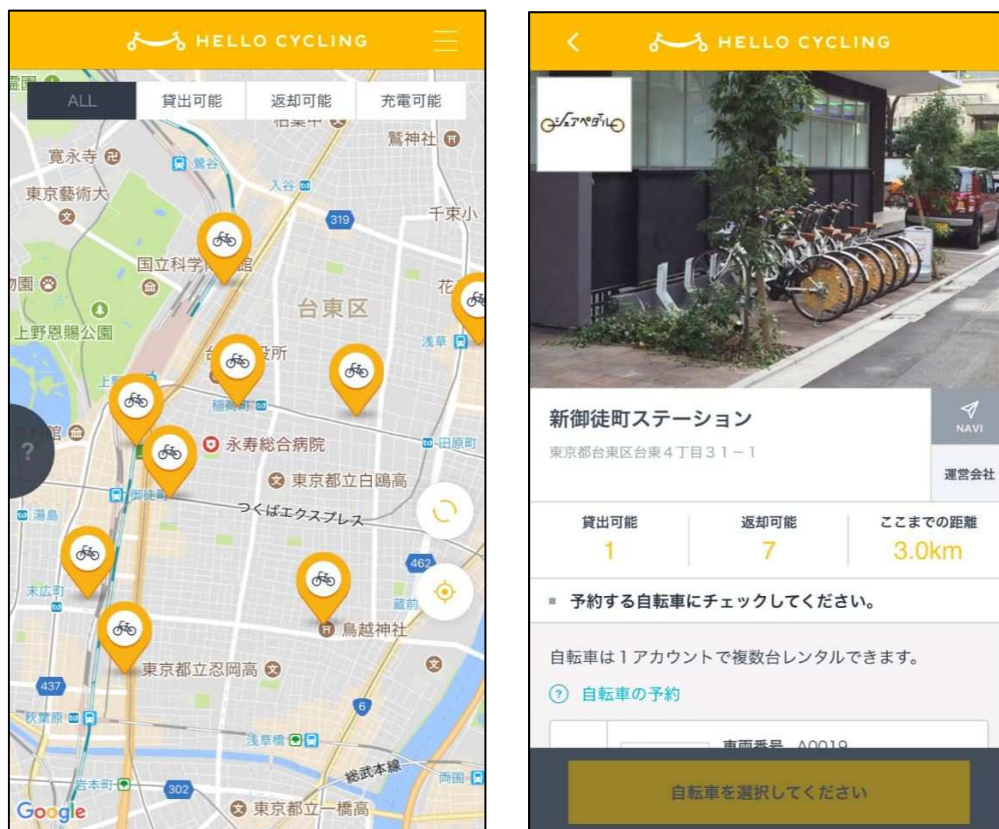
60円／15分（最大1,000円／24時間）

※1：残り2社の公募は6月29日まで続きます。

※2：「ステーション」以外の場所に自転車が放置された場合、料金が加算され続ける仕組みです。

※3：「ステーション」の駐輪可能台数をリアルタイムでアプリ、サイト上に表示し、満車の場合は返却できないようにする仕組みです。

## ■イメージ画像



## ■OpenStreet株式会社について

OpenStreetは、ヤフー株式会社の子会社であるZコーポレーション株式会社とソフトバンク株式会社の子会社であるSBイノベーション株式会社が出資する企業です。ソフトバンクグループが従業員のアイデアを広く募集して事業化を行う新規事業提案制度「ソフトバンクイノベーション」を通じて2016年11月に設立され、同月からシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING」を提供しています。電車やバスなどを下車した後の「ラストワンマイル」の移動を支える補助交通として、各地域に根差したシェアサイクルを発展させることを目的としています。

「HELLO CYCLING」の詳細はこちら (<https://www.hellocycling.jp/>) をご覧ください。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

台東区 交通対策課 石川洋二

電話：03-5246-1305 FAX：03-5246-1319 メールアドレス：y-ishikawa@city.taito.tokyo.jp

ヤフー株式会社 広報室 矢内博之 (OpenStreet広報担当)

電話：03-6898-8282 FAX：03-6898-9631 メールアドレス：ycompany-pr@mail.yahoo.co.jp

APAMAN株式会社 管理本部 川崎 美紀

電話：03-3231-8020 メールアドレス：asnpress@apamanshop.co.jp

株式会社シェアリングサービス 会川博文

電話：03-5362-3055 FAX：03-5362-3056 メールアドレス：press@sharing-s.co.jp